

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成21年10月22日 (2009.10.22)

【公開番号】特開2008-95038(P2008-95038A)

【公開日】平成20年4月24日 (2008.4.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-016

【出願番号】特願2006-281233(P2006-281233)

【国際特許分類】

C 0 8 G 18/48 (2006.01)

C 0 8 G 18/22 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 18/48 Z

C 0 8 G 18/22

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月3日 (2009.9.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

本発明に係る硬化性組成物は、好適には、基剤として上記ポリサルファイドポリマーに加えてポリオール（D）を含むことができる。この場合、高温高湿度環境において、特に優れた発泡性（非発泡性）、可使時間等の作業性のバランスを得ることができる。

上記ポリオールとしては、従来公知の各種ポリオール（例えば、エチレングリコール、プロピレングリコール、グリセリン、トリメチロールプロパン、ペンタエリスリトール、ソルビトール、ショ糖等の多価アルコールにプロピレンオキサイドまたはプロピレンオキサイドとエチレンオキサイド等のアルキレンオキサイドとを付加重合したポリエーテルポリオール類；エチレングリコール、プロピレングリコールおよびこれらのオリゴグリコール類；ブチレングリコール、ヘキシレングリコール、ポリテトラメチレンエーテルグリコール類；ポリカプロラクトンポリオール類；ポリカーボネートポリオール類；ポリエチレンアジペート等のポリエステルポリオール類；ポリブタジエンポリオール類；ヒマシ油等のヒドロキシル基を有する高級脂肪酸エステル類；ポリエーテルポリオール類またはポリエステルポリオール類にビニルモノマーをグラフト化したポリマーポリオール類等）等が挙げられる。市販品としては、三洋化成工業（株）製「サンニックス P P 3 0 0 0」（分子量 3 0 0 0 のジオール）等が例示される。これらは、単独で、または 2 種以上の混合物で使用してもよい。

上記ポリオールの配合量は、通常、ポリサルファイドポリマー（A）1 0 0 部（重量部、以下同様）に対して 2 0 ～ 4 5 0 部（好適には 2 5 ～ 3 0 0 部）の範囲で選定することができる。2 0 部未満では、可使時間の調整が困難になる虞があり、また 4 5 0 部を超えると、耐久接着性が低下する傾向にある。